



第 40 期

# 報告書

(2013年3月1日から2014年2月28日まで)

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第40期（2013年3月1日から2014年2月28日まで）の会社の現況及び決算につきましてご報告申し上げます。株主の皆さまにおかれましては、今後なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

川村 暢朗

## 会社の現況

### 事業の経過及び成果

当連結会計年度（2013年3月1日～2014年2月28日）における東北地域の経済は、東日本大震災の復興需要本格化や政府の経済政策効果により円安・株高が顕著となり、一部に緩やかな回復基調が見られるものの、一方で原材料価格やエネルギーコストの上昇など、依然として先行きに対する不透明な状況が続いています。小売業界におきましては、高付加価値の一部商品が好調になるなど、消費マインドが改善傾向にある中、大手企業による寡占化の進行と業種業態を超えた競争も激化し、厳しい経営環境が続いております。このような状況のもと、当社グループ（当社および連結子会社）は、新たな事業モデルの基盤構築、既存事業の深耕と拡大、お客さまへのサービスの充実に努め、ホームセンターらしい商品の開発を進めるとともに当社グループ全店で早朝7時営業も定着した結果、アグリ・DIY・エクステリア・作業衣料・リフォーム等を中心に昨年を上回り、季節需要に対応した売場づくりもお客さまの支持を得ました。

新規出店につきましては、今後の成長戦略の柱として、東北の農業エリアに展開する小商圏型の新業態「ホームマート」4店舗をオープンいたしました。「近くて便利。日々の暮らしに役立つ衣食住を手ごろな価格でご提供する店」をコンセプトに、一号店となる「名川店」（青森県南部町）を9月に、「大東店」（岩手県一関市）と「本吉店」（宮城県気仙沼市）を11月に、「乙供店」（青森県東北町）を12月にオープンし、お客さまからご好評いただいております。さらに10月には、㈱サンデーのホームセンターとして福島県初出店となる「サンデー須賀川店」（福島県須賀川市）をオープンいたしました。また、ホームセンターらしい商材の強化ならびにお客さまがお買物しやすい売場への転換を目的として、㈱サンデーにおいて水沢店、水沢佐倉河店、むつ苦生店、むつ中央店、青森虹ヶ丘店、盛岡店の計6店舗の改装を実施してお

ります。

これらにより当連結会計年度末における店舗数は、㈱サンデーのホームセンター計46店舗、ホームマート計4店舗、イオンスーパーセンター(㈱)へのコンセッション入り参画15店舗、子会社(㈱)ジョイ19店舗、合計84店舗となりました。

販売面においては、第1四半期は、前半に大雪の影響や記録的な低温による農作業や家庭でのガーデニングの遅れに伴い、主力部門である園芸、苗木、レジャー等を中心とした商材が影響を受けましたが、後半の気温上昇に伴い、殺虫剤、作業衣料等の季節商品とともに回復しました。第2四半期は、天候不順および遅い梅雨明けが一時的に影響しましたが、アグリ・園芸が盛り返し、すだれ・網戸・エアコン・殺虫剤等の夏物も早い動きを示し、8月度は塗料、除草関連商品や暑さ対策およびお盆商品、帰省客への除雪機の早期予約販売が好調でした。第3四半期は、収穫作業の早まりに対するアグリ関連商品の充実、例年より早い寒波・降雪による需要高まりに対する雪囲い・暖房等の主力冬物商品が堅調に推移いたしました。第4四半期は、前半に少雪暖冬の影響があったものの、ギフト、リカーの重点販売、農業資材関連の早期予約、2月度の大雪へ対応した除雪用品・防寒衣料等が伸長しました。

営業面では、工事関係者、農家、シニアの方々をはじめ出勤前のお客さまからもご好評いただいております早朝7時営業のほか、シニア商品の集合展開、取り付けバック等のリフォーム強化、農機具や電動工具メーカーとの取り組み、ホームセンターらしい自社開発商品およびイオンのブランド「トップバリュ」商品の拡販等を行いました。また、ホームマート乙供店で「日配品」「冷凍食品」を新たに導入し、小商圏農業エリアにおけるお客さまのニーズにお応えいたしました。さらに会員数120万人を突破した当社グループの自社カード「マイカード」、法人向け掛売りに対

応した「法人カード」、収穫払いに対応したクレジットカード「アグリッシュカード」の訴求を継続し、多くのお客さまにご利用いただいております。イオンの電子マネー「WAON」使用可能店舗数は㈱サンデーのホームセンター全店への導入完了により当社グループ計48店舗へと拡大しました。クレジットカード「イオンサンデーカード」は、金利手数料無料により高額商品購入に寄与しました。このほか㈱サンデー八戸根城店、青森店、青森虹ヶ丘店の計3店舗へのイオン銀行ATM導入、従業員による自社宅配サービス等、積極的な販促活動とお客さまの利便性を追求したサービスを強化しました。一方、専門性の高い人材育成の一環として資格取得を進めた結果、「DIYアドバイザー」をはじめとする各種資格取得者数は延べ3,000名を超えました。資格を取得した従業員は、各地の公民館等にて開催した「DIY教室」「寄せ植え教室」の講師を務めており、延べ1,500名のお客さまにご参加いただいております。

このような専門性の深化とお客さまの利便性を高める営業施策を行った結果、当連結会計年度における当社グループの連結売上高は、469億3百万円（前期比0.3%減）、連結営業利益は12億68百万円（前期比5.4%増）、連結経常利益は12億68百万円（前期比7.2%増）となり増益を達成しました。なお、連結当期純利益は7億33百万円（前期比24.7%減、2億40百万円の減、前年の繰延税金資産2億85百万円計上を加味した場合は実質45百万円の増）となり4期連続の黒字を達成しました。なお、前2013年2月期連結会計年度は、決算期変更に伴い2012年2月21日から2013年2月28日まででありましたが、2014年2月期連結会計年度は、2013年3月1日から2014年2月28日までとなっております。カッコ内前年同期比は参考値として記載しております。

## 設備投資及び資金調達の状況

当連結会計年度の設備投資総額は15億53百万円であり、その主なものは新店工事・既存店舗の改築に伴うものであります。

なお、当連結会計年度の設備投資資金は、自己資金により充たいたしました。

## 企業集団の対処すべき課題

当社グループは東北を主要基盤に生活必需品全般を扱うホームセンター事業を展開しておりますが、イオングループとのシナジー効果を発揮し、環境変化に対応しお客さま満足度を追求する企業を目指してまいります。そのために、今後も続くと思われる業種・業態を超えた出店競争や価格競争の激化、お客さまの節約・低価格志向、少子高齢化に伴う人口減少など、一層厳しさを増す経営環境の変化へ迅速に対応し、新しいホームセンターづくりに向けた基盤を創り上げる期間と位置づけ、新たな価値創造による顧客創造を目指し、さらなる成長を図ってまいります。また、当社グループは被災地の復興支援を継続するとともに、成長戦略の

実現に向け、①新規出店によるドミナントエリア形成、②新しいお客さまを呼び込む新カテゴリーの導入、③ホームセンターらしいオリジナル商品創出などによる新しいニーズへの対応と、それを支える④スペシャリストとしてのチェーンストアマンを育成するとともに、ローコスト経営を推し進め、収益力向上と集客力のアップを図ってまいります。そして、これらの取り組みを実行するため、「商品経営、全員参加経営、積極経営、人財経営」を経営の4本柱として掲げ、持続的成長性と安定した収益性を確保できる経営基盤を構築してまいります。

次期2014年度は新中期3カ年計画をスタートする年であり、「新しいサンデーの創造」実現に向けた重要な年度であります。当社グループは成長戦略実現に向け、専門性と利便性を高め、お客さまニーズの変化に対応するとともに、品揃えの拡充とお客さまにご満足いただける価格ならびにサービスの実現に努め、「Save Money Good Life」(節約による豊かな暮らしの実現)というスローガンのもと、持続的な成長を確かなものとするべく、地域に根ざした商売に徹し、お客さまに支持される店づくりを目指してまいります。

そのために、今後の成長の柱として、東北の農業エリアを中心に小型新業態店舗「ホームマート」出店を加速させてまいります。既存店では、ホームセンターらしい品揃えの充実と新しいカテゴリーおよびサービスを導入した「新しいホームセンターの構築」を目指した活性化を実施いたします。一方、「マイカード」「法人カード」「アグリッシュカード」のホルダー獲得に取り組むとともに、当社ならではのオリジナル商品の創出、プロニーズにも対応するアグリ・DIY・ワーキング等デスティネーション売場の進化、ホームファッション改革、バリアフリー型工種拡大によるリフォーム強化、ネット・モバイル通販の構築等を進めます。そして、これらを支え実行する人材を育成するため、新たな教育プログラムと売場改善のタスクチーム編成等、「経験と教育」による人材の底上げを図ってまいります。利益面では、経費の削減、業務の効率化、働き方の見直しによる人的効率向上等によりローコスト経営を継続し、収益力アップを図ってまいります。一方、㈱ジョイにおいては、店舗の活性化、管理部門の機能統合による効率化ならびに従業員のスキルアップを進め、収益性の向上を目指してまいります。

また、地域・社会貢献活動への取り組みとして、引き続き、毎月11日に店舗周辺の清掃活動を従業員がボランティアで実施する「クリーン&グリーン活動」、「植樹祭」・「イオンの森づくり」への参加、「お買物袋持参運動」、24時間テレビに代表される各種「募金活動」、「各自自治体との災害時における支援協定締結」、「各県警との交通安全活動」等を通じ、地域のお客さまと共に成長する企業を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 第40期の概況

### スローガン 「新しいサンデーの創造」

#### 新業態フォーマット「ホームマート」出店

今後の成長戦略の柱となる小商圏向けの小型新業態店舗を、9月4日朝7時青森県三戸郡南部町に初出店いたしました。東北の農村エリアを中心に「近くて、便利！日々の暮らしに役立つ衣食住を手頃な価格で提供する店」をコンセプトに、地域のニーズに柔軟に対応したホームコンビニエンスストアの構築を目指してまいります。続いて2号店を岩手県一関市大東町、3号店を宮城県気仙沼市本吉町へ11月2店同時オープンいたしました。また、12月青森県上北郡東北町にオープンいたしました4号店「乙供店」では、サンデーで初めて冷凍食品や牛乳・卵・納豆などのデリー食品を取り扱い、お客さまからご好評を頂いております。



#### ホームセンターを福島県に初出店

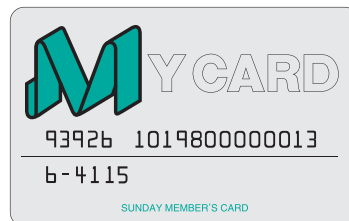
サンデーは2013年10月11日朝7時、福島県須賀川市に須賀川店をオープンいたしました。福島県へのホームセンター初出店であり、当社5年ぶりの大型店となります。新しい取り組みとして、お買上げ商品の配達サービス、電動工具から大型重機までのレンタルサービス、エクステリアセンターの設置等で、よりきめ細かなサービスを提供してまいります。

今後もお客さまが「Save Money Good Life」(節約による豊かな暮らしの実現)を実感し、ご満足いただけるよう地域のお客さまのご期待に応えてまいります。



#### マイカード会員120万人突破

サンデーでは、1986年3月に固定客拡大と顧客管理を目的とした自社カードである「マイカード」を導入いたしました。現金払い専用のポイントカードとなっております。2013年度には、会員数120万人を突破し、会員の皆さまにご愛顧いただいております。





## 既存店の活性化

当社は、新しい棚割への変更やホームセンターらしい商材の強化ならびにお客さまが買物しやすい売場への転換に取り組み、計6店舗の活性化を実施しました。

### 青森県

むつ中央店・むつ苫生店・青森虹ヶ丘店

### 岩手県

盛岡店・水沢店・水沢佐倉河店

### 主な取り組み

- 農業資材・園芸薬品・園芸用土の強化
- 合板・荒材・建材・資材の売場拡大
- リフォームコーナーの設置
- シニア用品の品揃え強化と売場の集合展開



## 開発商品

「ホームセンターであるサンデーならではの価値と特色ある商品の開発」をモットーに、クオリティアップとプライスダウンを目指した結果、これまでに園芸資材・ペット用品、家庭雑貨等、計約3,200アイテムを開発しております。



## アグリ取り組み

2011年よりスタートした農家向けの収穫期払いカード「サンデーアグリッシュカード」の会員数は順調に伸び、農業用資材早期予約カタログでの販売についてもご利用のお客さまよりご好評いただいております。



## 第40期の概況

### 早朝7時営業

2012年5月30日より、農業従事者・工事関係者、シニアのお客さまのご希望にお応えするかたちで7時開店をスタートいたしました。以来好評を頂き、2014年2月末時点でサンデー 50店舗、(株)ジョイ19店舗の合計69店舗で通年7時営業を行っております。



### 早期需要対応「除雪機」

サンデーでは、お盆の帰省客に合わせ冬シーズン商材の「除雪機」を冬本番に備え、8月に早期予約展開いたしました。お客さまのニーズを取り込み好調でした。



### 宅配サービス

サンデーは、お買上商品の配達や電話1本でチラシ商品などをお届けする「サン子ちゃん配達」のほか、矢本店・須賀川店、ホームマーケット乙供店・矢吹店では従業員による宅配サービス「SUN急便」を実施しております。



### WAON (ワオン) の拡大

イオンの電子マネー「WAON (ワオン)」をサンデーホームセンター46店舗とジョイ3店舗へ拡大し、お客さまの利便性が高まり、ご好評をいただいております。



### ネット&テレビ販促媒体

サンデーでは、ホームページを通じての情報発信やテレビ・ラジオ媒体を活用した販促で最新の情報を提供しております。



## クリーン&グリーン活動・募金

サンデーは、毎日の営業活動を通じて地域の発展を願い、よき企業市民として社会への奉仕に努めています。毎月11日を「クリーンデー」と定め、全店従業員がボランティアにて店舗近隣エリアの清掃活動を実施いたしております。このほかに福祉施設の支援・募金活動等、今後も地域に根ざしたさまざまな社会貢献活動を通じ、皆さまに愛される企業を目指してまいります。



あおもりJOMON WAON  
寄付金贈呈式



24時間TV募金贈呈式

## DIY教室・寄せ植え教室

サンデーではイオンショッピングセンターや公民館で行われる網戸や障子紙の張替え、花壇苗の寄せ植え等、各種教室や実演に従業員を講師として派遣し、ご自分で簡単に出来るDIYやガーデニングの楽しさを地域の皆さまにお伝えしております。2013年は、計60回開催し、約1,500名の方にご参加いただきました。



## イオンの森づくり

サンデーは2010年に青森県と里山林の整備と自然環境学習の場への活用を目的に「青森県森林づくり協定」を結びました。お客さまからお預かりしたレジ袋収益金を活用させて頂き、地元八戸市南郷区島守の県有林(5.2ha)を「イオンの森」として5年間をかけ、植樹等で整備しております。4年目となる2013年10月5日には、7団体およびグループ従業員家族の約150名が参加し、植樹作業・自然学習が行われました。これまでに、延べ約3,600本の苗木を植樹いたしました。



## サンデーが全店にAEDを配備

サンデーは、2013年6月28日までに、お客さまの安全確保対策として、県内外のホームセンター全45店舗に自動体外式除細動器(AED)を配備いたしました。導入時には全店で講習会を開き、従業員の救命技術向上に努めました。また、下期オープンした店舗にも順次設置されています。





# 営業成績及び財産の状況の推移

## 1. 主要経営数値

(単位：千円、千円未満切捨)

区 分	期 別	個別		連結	
		第39期 (2013年2月期)	第40期 (2014年2月期)	第39期 (2013年2月期)	第40期 (2014年2月期)
売 上 高 (千円)		38,005,838	38,191,970	47,064,385	46,903,011
経 常 利 益 (千円)		1,331,938	1,260,497	1,183,591	1,268,997
当 期 純 利 益 (千円)		616,565	709,268	973,522	733,507
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)		57.30	65.92	90.48	68.17
総 資 産 (千円)		23,947,567	24,379,371	27,657,915	29,220,655
純 資 産 (千円)		8,626,546	9,182,938	8,412,471	8,993,385

(注) 1.1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数により算出しております。また、期中平均発行済株式総数については、期中平均自己株式数を控除して算出しております。

## 2. 主要な事業内容

当社及び連結子会社は、DIY用品、家庭用品、カー・レジャー用品等の小売業を行っております。

なお、部門別の構成内容、売上高の推移は次のとおりであります。

(単位：千円、千円未満切捨)

部門別	期 別	個別		連結	
		第39期 (2013年2月期)	第40期 (2014年2月期)	第39期 (2013年2月期)	第40期 (2014年2月期)
直 営	D I Y 用 品	6,673,412	6,392,028	8,106,256	7,760,384
	家 庭 用 品	15,856,537	15,867,291	19,663,016	19,567,922
	カー・レジャー用品	15,087,954	15,408,119	18,475,746	18,789,083
	そ の 他	15,840	20,297	17,720	22,960
	計	37,633,745	37,687,737	46,262,741	46,140,350
そ の 他 の 営 業 収 入		372,093	504,233	801,644	762,660
合 計		38,005,838	38,191,970	47,064,385	46,903,011

(注) 1.部門別の各構成内容は次のとおりであります。

- (1) D I Y 用 品 (木材、建築金物、工具、塗料、エクステリア) (4) そ の 他 (施工サービス等)  
 (2) 家 庭 用 品 (日用品、インテリア、電化製品、家庭雑貨等) (5) その他の営業収入 (コンセッションナリー売上手数料等)  
 (3) カー・レジャー用品 (園芸資材、ペット用品、レジャー用品、カー用品等)  
 2.上記金額には、消費税等は含まれておりません。



# 連結貸借対照表

(2014年2月28日現在)

(単位：千円、千円未満切捨)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>10,602,023</b>	<b>流動負債</b>	<b>15,674,612</b>
現金及び預金	929,896	支払手形及び買掛金	8,778,121
受取手形及び売掛金	328,565	短期借入金	2,600,000
商品及び製品	8,599,621	1年内返済予定の長期借入金	1,467,316
原材料及び貯蔵品	71,311	リース債務	16,783
未収入金	200,426	未払金	631,681
繰延税金資産	258,808	未払法人税等	539,278
その他	213,393	賞与引当金	344,583
		役員業績報酬引当金	25,579
<b>固定資産</b>	<b>18,618,632</b>	ポイント引当金	177,462
<b>有形固定資産</b>	<b>15,969,997</b>	設備関係支払手形	155,387
建物及び構築物	6,786,565	リース資産減損勘定	11,188
機械装置及び運搬具	16,820	その他	927,230
土地	8,498,525	<b>固定負債</b>	<b>4,552,657</b>
リース資産	36,311	長期借入金	3,425,620
建設仮勘定	121,241	リース債務	19,696
その他	510,533	資産除去債務	473,659
<b>無形固定資産</b>	<b>115,584</b>	退職給付引当金	372,697
ソフトウェア	87,919	債務保証損失引当金	47,108
その他	27,664	リース資産減損勘定	1,687
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,533,050</b>	その他	212,188
投資有価証券	88,365	<b>負債合計</b>	<b>20,227,269</b>
長期貸付金	521,945	<b>純資産の部</b>	
差入保証金	1,149,349	株主資本	8,983,283
長期前払費用	285,262	資本金	3,240,218
繰延税金資産	471,053	資本剰余金	3,254,597
その他	43,946	利益剰余金	2,492,473
貸倒引当金	△26,871	自己株式	△4,005
		その他の包括利益累計額	2,352
		その他有価証券評価差額金	2,352
		新株予約権	7,750
<b>資産合計</b>	<b>29,220,655</b>	<b>純資産合計</b>	<b>8,993,385</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>29,220,655</b>

# 連結損益計算書

(2013年3月1日から  
2014年2月28日まで)

(単位：千円、千円未満切捨)

科 目	金 額	
売上高		46,903,011
売上原価		33,026,526
売上総利益		13,876,484
販売費及び一般管理費		12,607,924
営業利益		1,268,560
営業外収益		
受取利息	6,867	
受取配当金	2,896	
受取賃貸料	68,103	
受取手数料	8,098	
その他	16,342	102,308
営業外費用		
支払利息	60,265	
支払賃貸費用	28,818	
その他	12,787	101,871
経常利益		1,268,997
特別利益		
受取保険金	7,932	
固定資産売却益	7,500	15,432
特別損失		
固定資産除却損	6,070	
災害による損失	9,941	
賃貸借契約解約損	14,567	30,580
税金等調整前当期純利益		1,253,850
法人税、住民税及び事業税	507,955	
法人税等調整額	12,387	520,342
少数株主損益調整前当期純利益		733,507
当期純利益		733,507

# 連結株主資本等変動計算書

(2013年3月1日から  
2014年2月28日まで)

(単位：千円、千円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2013年3月1日 残高	3,240,218	3,254,597	1,920,357	△3,904	8,411,268
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△161,391		△161,391
当期純利益			733,507		733,507
自己株式の取得				△101	△101
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	572,115	△101	572,014
2014年2月28日 残高	3,240,218	3,254,597	2,492,473	△4,005	8,983,283

(単位：千円、千円未満切捨)

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
2013年3月1日 残高	1,202	1,202	—	8,412,471
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△161,391
当期純利益				733,507
自己株式の取得				△101
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	1,149	1,149	7,750	8,899
連結会計年度中の変動額合計	1,149	1,149	7,750	580,914
2014年2月28日 残高	2,352	2,352	7,750	8,993,385

## 1. 連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項に関する注記

### 1-1. 連結の範囲に関する事項

#### (1) 連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社ジョイ

#### (2) 主要な非連結子会社の名称等

該当事項はありません。

### 1-2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

### 1-3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は連結決算日と一致しております。

### 1-4. 会計処理基準に関する事項

#### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

・時価のあるもの

連結会計年度の期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

・時価のないもの

移動平均法による原価法

##### ② たな卸資産の評価基準及び評価方法

・商品

売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

・貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

#### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建 物 6～38年

構築物 10～50年

##### ②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における見込利用可能期間（5年）による定額法

##### ③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2009年2月20日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

##### ④長期前払費用

定額法

#### (3) 重要な引当金の計上基準

##### ①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### ②賞与引当金

従業員の賞与の支給に充当するため、当連結会計年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

##### ③役員業績報酬引当金

役員の業績報酬の支給に充当するため、当連結会計年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

##### ④ポイント引当金

自社ポイントカード制度に基づく、将来のお買物割引券使用による費用負担に備えるため、顧客に付与したポイント累積残高に対するお買物割引券発行見込額のうち実績率に基づく将来の使用見込額を計上しております。

##### ⑤退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、その発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定年数（10年）による定額法により翌連結会計年度から費用処理することとしております。

##### ⑥債務保証損失引当金

将来の債務保証に係る損失に備えるため、被保証先の財政



状態等を勘案し、将来負担見込額を計上しております。

- (4) 消費税等の会計処理  
税抜方式によっております。

## 2. 連結貸借対照表に関する注記

### 2-1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

#### (1) 担保に供している資産

建 物	205,946千円
計	205,946千円

#### (2) 担保に係る債務

長期借入金（1年内返済予定分を含む）	18,500千円
計	18,500千円

2-2. 有形固定資産の減価償却累計額 14,169,965千円

## 3. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

### 3-1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	株式の種類	当連結会計年度期首株式総数	当連結会計年度増加株式数	当連結会計年度減少株式数	当連結会計年度末株式総数
発行済株	普通株式	10,764千株	一千株	一千株	10,764千株
自 己 株	普通株式	5,259株	136株	一株	5,395株

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加136株は単元未満株式の買取によるものであります。

### 3-2. 剰余金の配当に関する事項

#### (1) 当連結会計年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2013年4月9日取締役会	普通株式	利益剰余金	161,391	15	2013年2月28日	2013年5月23日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの  
次のとおり予定しています。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2014年4月8日取締役会	普通株式	利益剰余金	161,389	15	2014年2月28日	2014年5月23日

### 3-3. 新株予約権に関する事項

目的となる株式の種類 普通株式  
目的となる株式の数 12,500株

## 4. 金融商品に関する注記

### 4-1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、ホームセンターを核とした小売事業を主力事業としております。資金運用については、主として安全性の高い定期性預金等の金融資産に限定し、資金調達については、銀行借入等による間接金融によっております。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。

投資有価証券は主として業務上の関係を有する会社の株式であり、市場価格の変動リスク及び信用リスクに晒されております。

長期貸付金は、取引先（貸付先）の信用リスクに晒されており

ます。

差入保証金は、主に店舗の賃借に係るものであり、差入先の信用リスクに晒されております。

営業債務である支払手形及び買掛金は、主に1年以内の支払期日であります。

短期借入金及び長期借入金は主に営業取引、設備投資に係る資金調達であり一部の長期借入金が変動金利のため、金利変動のリスクに晒されております。また、支払期日にその支払いを実行できなくなる流動性リスクを内包しておりますが、返済時期を分散させることにより流動性リスクの回避を図っております。

### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

#### ①信用リスクの管理

当社グループは、当社グループ規程に従い、受取手形及び売掛金について、受取手形及び売掛金の主たるものがクレジット販売に係わるものであることから、クレジット会社に対する与信管理を徹底することによりリスクの低減を図っております。

投資有価証券のうち、時価のある株式については四半期ごとに時価の把握を行い、時価のない株式等については定期的に発行体の財務状況等の把握を行っております。

長期貸付金及び差入保証金の一部については、抵当権、質権を設定するなど保全措置を講じており、取引先ごとに決算書の状況を定期的に確認管理するとともに、財務状況の悪化等による回収懸念の早期把握や貸倒れリスクの軽減を図っております。

#### ②市場リスクの管理

投資有価証券等については、市場動向、時価及び発行体（取引先企業）の財務状況等を定期的にモニタリングして経営陣に報告するとともに、保有状況を継続的に見直しております。

長期借入金については、支払金利の変動を定期的にモニタリングし、金利変動リスクの早期把握を図っております。

#### ③資金調達に係る流動性リスクの管理

当社グループは、各部署からの報告に基づき担当部署が適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持等により流動性リスクを管理しております。

#### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該

価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該時価が異なることもあります。

#### 4-2. 金融商品の時価等に関する事項

2014年2月28日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません。（(注2)をご参照ください）

	連結貸借対照表 計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1)現金及び預金	929,896	929,896	—
(2)受取手形及び売掛金	328,565	328,565	—
(3)投資有価証券	38,942	38,942	—
(4)長期貸付金	521,945	467,799	△54,145
(5)差入保証金	1,149,349	1,097,646	△51,703
資産計	2,968,698	2,862,849	△105,848
(1)支払手形及び買掛金	8,778,121	8,778,121	—
(2)短期借入金	2,600,000	2,600,000	—
(3)長期借入金 (1年内返済予定の 長期借入金を含む)	4,892,936	4,910,015	17,079
負債計	16,271,057	16,288,137	17,079

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項  
資 産

#### (1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (3) 投資有価証券

これらの時価について、株式等は取引所の価格によっております。

#### (4) 長期貸付金、(5) 差入保証金

長期貸付金及び差入保証金の時価については、契約期間に基づいて算出した将来キャッシュ・フローを対応するリスクフリー・レートで割り引いた現在価値により算定しております。

#### 負 債

#### (1) 支払手形及び買掛金、(2) 短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

### (3) 長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額をリスクフリー・レートに信用リスクを加味した利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区 分	連結貸借対照表計上額 (千円)
非上場株式	49,422
合 計	49,422

上記非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象としておりません。

## 5. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 835円15銭

1株当たり当期純利益 68円17銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

当 期 純 利 益	733,507千円
普通株主に帰属しない金額	—
普通株式に係る当期純利益	733,507千円
期 中 平 均 株 式 数	10,759,376株

## 6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

# 当社の株式の状況

(2014年2月28日現在)

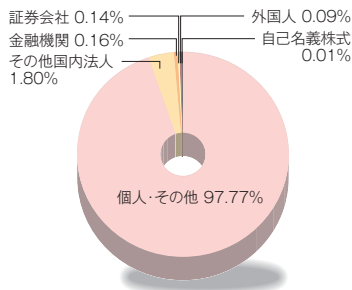
- 発行可能株式総数  
20,640,000株
- 発行済株式の総数  
10,764,700株
- 株主数  
7,317名

(注) 持株比率は自己株式(5,395株)を控除して計算し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

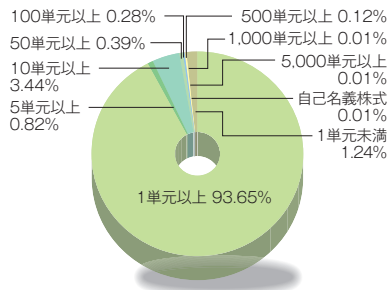
## 4. 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	8,288	77.04
株式会社みちのく銀行	133	1.24
サンデー従業員持株会	90	0.84
三井住友海上火災保険株式会社	79	0.74
株式会社北日本銀行	74	0.69
みずほ信託銀行株式会社	66	0.62
株式会社岩手銀行	53	0.49
株式会社七十七銀行	53	0.49
株式会社秋田銀行	53	0.49
株式会社商工組合中央金庫	51	0.48

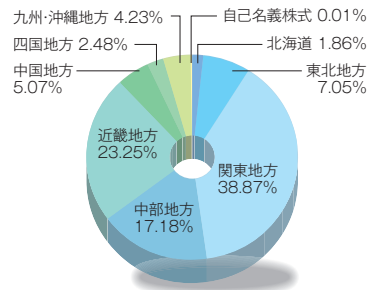
## 所有者別分布状況(株主数比率)



## 所有数別分布状況(株主数比率)



## 地域別分布状況(株主数比率)



## 株主の皆さまへ

### ◆2014年株主優待贈呈品のお知らせ

2014年の贈呈品は、青森名産の「りんご3kg」(1,000株以上の株主さまには「りんご」とりんごジュース・ジャムの詰合せ)とし、2014年8月末日現在の株主の皆さまに対し贈呈いたします。

### ●贈呈基準及び内容



2014年は、青森名産「りんご3kg」をお送りいたします。

所有株式数100株以上1,000株未満の株主さまに、東北地方の特産品(市価1,500円~2,000円相当)を贈呈いたします。

●贈呈時期 毎年12月上旬にお届けいたします。

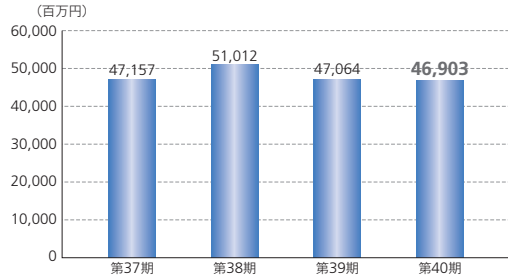


所有株式数1,000株以上の株主さまに、東北地方の特産品(市価4,000円~5,000円相当)を贈呈いたします。

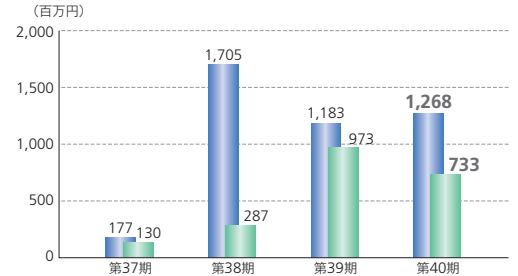
2014年は、青森名産「りんご」とりんごジュース・ジャムの詰合せをお送りいたします。



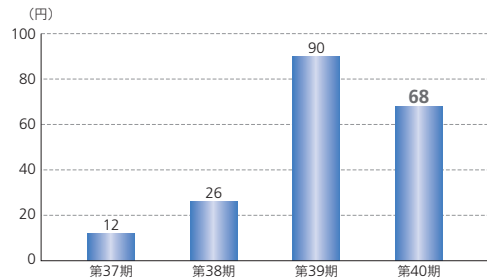
## 売上高(連結)



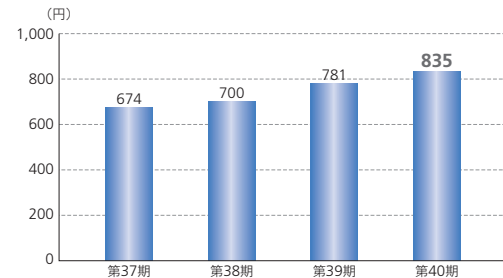
## 経常利益・当期純利益(連結)



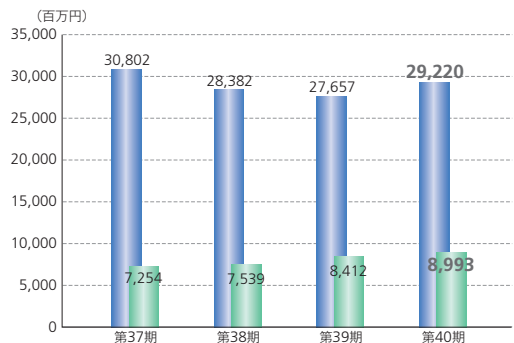
## 1株当たり当期純利益(連結)



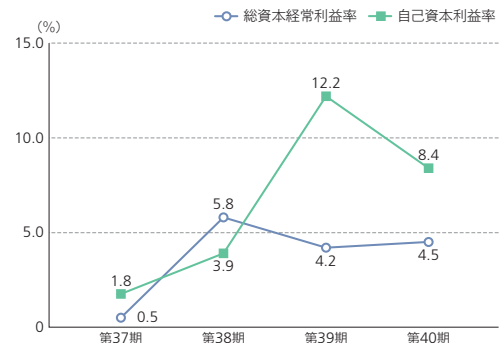
## 1株当たり純資産(連結)



## 総資産・純資産(連結)



## 総資本経常利益率・自己資本利益率(連結)



# 当社の会社概要

(2014年2月28日現在)

設立 昭和50年5月

本店所在地 〒039-1166 青森県八戸市根城六丁目22番10号

資本金 3,240,218,000円

主たる事業内容 DIY用品（日曜大工用品）を中心に住まい、暮らし、余暇関連の生活用品を販売するホームセンターチェーン

従業員数 正社員 559名  
 (注) 上記従業員のほか、コミュニティ社員等の臨時従業員の期中平均雇用人員は1,312名（1日8時間換算）であります。

取引金融機関 青森銀行 きらやか銀行 みちのく銀行 みずほ銀行  
 岩手銀行 北日本銀行

当社の役員（2014年5月22日現在）

代表取締役社長 / 川村 暢 朗  
 常務取締役 / 成澤 真 一  
 取締役 / 高谷 剛  
 取締役 / 今 秀 則  
 取締役 / 久保 善 伸  
 取締役 / 松谷 幸 一  
 取締役 / 伊佐 研 一  
 常勤監査役 / 三浦 敬  
 監査役 / 神山 茂  
 監査役 / 沖 尚 彦  
 監査役 / 富来 真 一 郎

# 当社グループの事業所一覧

(2014年2月28日現在)

## 青森県 24店舗

- ◎本部 ☎0178-47-8511
- ◎八戸物流センター ☎0178-28-2664
- 八戸石堂店 ☎0178-28-8733
- 八戸長苗店 ☎0178-28-9651
- 八戸新井田店 ☎0178-25-2611
- 八戸根城店 ☎0178-22-5040
- 八戸沼館店 ☎0178-41-2202
- 青森浜田店 ☎0177-729-3400
- 青森店 ☎0177-782-1231
- 青森虹ヶ丘店 ☎0177-744-1222
- 弘前店 ☎0172-33-6721
- 弘前石渡店 ☎0172-35-1811
- 弘前安原店 ☎0172-88-1121
- 十和田店 ☎0176-23-9681
- 三沢店 ☎0176-52-6116
- むつ苫生店 ☎0175-22-3145
- むつ中央店 ☎0175-29-1020
- 五所川原店 ☎0173-35-9340
- 浪岡店 ☎0172-62-0334
- 野辺地店 ☎0175-64-2200
- 三戸店 ☎0179-22-2600
- 柏 店 ☎0173-25-2871
- 平 内 店 ☎0177-755-2030

- ★十和田店 ☎0176-21-3000
- ◆名川店 ☎0178-75-1117
- ◆乙供店 ☎0175-65-5825

## 岩手県 18店舗

- ◎金ヶ崎物流センター ☎0197-44-5315
- 久慈長内店 ☎0194-52-8870
- 盛岡店 ☎019-641-7818
- 盛岡前湯店 ☎019-645-8870
- 北上江釣子店 ☎0197-77-5522
- 北上里分店 ☎0197-64-4438
- 水沢店 ☎0197-22-6777
- 水沢佐倉河店 ☎0197-23-2201
- 花巻店 ☎0198-22-4560
- 大船渡店 ☎0192-26-3783
- 釜石店 ☎0193-23-2233
- 紫波店 ☎019-672-5882
- 千厩店 ☎0191-52-3301
- 種市店 ☎0194-65-6700
- 大船渡野々田店 ☎0192-47-4010
- ★一関店 ☎0191-31-6111
- ★金ヶ崎店 ☎0197-41-0800
- ★盛岡渡民店 ☎019-669-5600
- ★大東店 ☎0191-72-3320

## 秋田県 12店舗

- 花輪店 ☎0186-23-4220
- 秋田土崎店 ☎018-857-0301
- 秋田御野場店 ☎018-829-1464
- 秋田八橋店 ☎018-865-0600
- 角館店 ☎0187-54-1530
- 能代店 ☎0185-52-8481
- 鷹巣店 ☎0186-62-6101
- 大曲店 ☎0187-62-3993
- ★大館店 ☎0186-44-6800
- ★本荘店 ☎0184-28-0010
- ★五城目店 ☎018-879-8211
- ★湯沢店 ☎0183-78-0088

## 宮城県 10店舗

- 矢本 店 ☎0225-83-4281
- 大和吉岡店 ☎022-345-8475
- ★石巻東店 ☎0225-25-3337
- ★鉤取店 ☎022-307-3633
- ★涌谷店 ☎0229-44-1181
- ★栗原志波姫店 ☎0228-21-3111
- ★佐沼店 ☎0220-21-5011
- ★加美店 ☎0229-64-1311
- ◆本吉店 ☎0226-31-1077
- 愛子店 ☎022-392-8933

## 山形県 18店舗

- 下条店 ☎023-644-3030
- 前田店 ☎023-642-4120
- 南館店 ☎023-645-3730
- 山形北店 ☎023-681-3777
- 白山店 ☎023-633-3960
- 天童南店 ☎023-651-3820
- 寒河江店 ☎0237-86-1077
- 河北店 ☎0237-72-7711
- 東根店 ☎0237-43-5500
- 東根中央店 ☎0237-41-2288
- 北村山店 ☎0237-23-3680
- 新庄店 ☎0233-23-3334
- 楡引店 ☎0235-57-5180
- 藤島店 ☎0235-64-4410
- あつみ店 ☎0235-44-3111
- 西米沢店 ☎0238-22-2711
- 長井店 ☎0238-84-8001
- 南陽プラザ店 ☎0238-43-7980

## 福島県 2店舗

- 須賀川店 ☎0248-63-7135
- ★鏡石店 ☎0248-92-3080

★はイオンスーパーセンター（当社がコンセッションナリーとして参画） ◆はホームマート ■はジョイ（連結子会社）

## 株主メモ

1. 事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
2. 定時株主総会 毎年5月
3. 基準日 毎年2月末日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
4. 期末配当金 実施する場合は、毎年2月末日の最終の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
5. 中間配当金 実施する場合は、毎年8月末日の最終の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
6. 株主優待制度 毎年8月末日の最終の株主名簿に記録された100株以上ご所有の株主に東北地方の特産品を贈呈いたします。
7. 郵便物送付先、電話お問い合わせ先等

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 (トラストラウンジを除く)、 みずほ銀行株式会社、 みずほ証券株式会社 (カスタマープラザを除く) 各本支店および営業所
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡下さい。

8. 公告掲載方法 電子公告 (<http://www.sunday.co.jp>) ただし事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。



木を植えています

私たちはイオンです

# 株式会社サンデー

本部：青森県八戸市根城六丁目22番10号(〒039-1166)

TEL. 0178(47)8511 FAX. 0178(47)8521

URL：<http://www.sunday.co.jp>